



財団法人柳田國男・松岡家  
顕彰会記念館  
〒679-2204  
神崎郡福崎町西田原 1038  
の12  
電話：0790-22-1000

企画展

『遠野物語』 出版百周年記念展

4月24日(土)～5月30日(日)

辻広場まつりの時期に  
合わせて当館では「遠野  
物語出版百周年記念展」  
を行います。お誘い合わ  
せの上、記念館までお越  
しくださいませ。

三百五十部しか発行さ  
れなかった『遠野物語』  
の初版本、『遠野物語』に  
出てくる地域の地図など  
を展示します。

場所 記念館 2階



『遠野物語』初版本

福崎の方言



春になり、動物たちも  
元気に動き回る時期です  
ね。そこで蛇やそれに遭  
遇したときに予測される  
反応についての言葉をみ  
てみましょう。

「ハメ」

これは「まむし」をさ  
す言葉です。毒があるの  
で注意しましょう。

「オジル」

これはこわがること  
を意味します。漢字で書  
くと「怖じる」となりま  
す。年配の方が主に使用  
します。

「ビビル」

これもこわがること  
やひるむことを意味し  
ます。突然、冬眠明けの  
まむしが目の前に現れ  
たらたいがいこのよう  
な反応になるのではな  
いでしょうか。若い方が  
主に使用します。



豆知識

明治三十八年四月  
九日に柳田國男の弟、  
松岡静雄は田尻愛子  
と結婚しました。

しかし、翌年四月六  
日死去するという悲  
しい出来事がおきま  
す。その二十一日後の  
二十七日に江田島か  
ら海軍の参謀を命じ  
られ 悲しみを乗り越  
えて静雄は東京に赴  
任します。

くによはん覚書

○ 百足の使い

ある時、百足と蚤と

風とが寄り合いまし  
た。寒い日だったので、  
こんなときにはみんな  
で酒でも買って飲もう  
じゃないか、と百足がい

い出しました。それには  
みな賛成しましたが、さ  
て誰が酒屋まで使いに行  
くかということになる  
と、蚤は、おれはびんぴ

ん飛ぶので瓶をわってし  
まいそうだから、この使  
いはできない、と申しま  
す。また、風も、わたし  
はぐずぐずして歩くのが  
とてもおそいから、どう  
もお役には立つまい、と  
いいました。仕方がない  
ので百足が自分で行くこ  
とに  
なりました。

とこ  
るがい  
くら待って  
も百足はもどって来ませ  
ん。蚤と風はとうとう待  
ち切れず、いったい百足  
は何をしているのだらう  
と、見に出かけました。



すると庭のすみで百足が  
何かしているの、おい  
おい百足さん、何をして  
いるんだ。おそいじゃな  
いか、と声をかけました。

百足は見向きもせず、  
おれは足がたくさんある  
ものだから、まだわらじ  
をはいているところだと  
答えました。

(出典 柳田國男。日  
本昔話集。)

会員募集中!

財団法人柳田國男・松岡  
家顕彰会は、一昨年、会員  
制度を発足させました。

入会者には会員証をお  
渡ししています。

- 法人会費 一〇〇〇〇円
- 個人会費 一〇〇〇円

特典

記念館無料入館



個人(本人+家族一名)  
法人(二口・四名まで)  
もちむぎのやかた  
レストラン1割引他

